

稲・大豆作情報 (NO. 2)

1. 水稻作況情報田の生育概況 (7月9日現在)

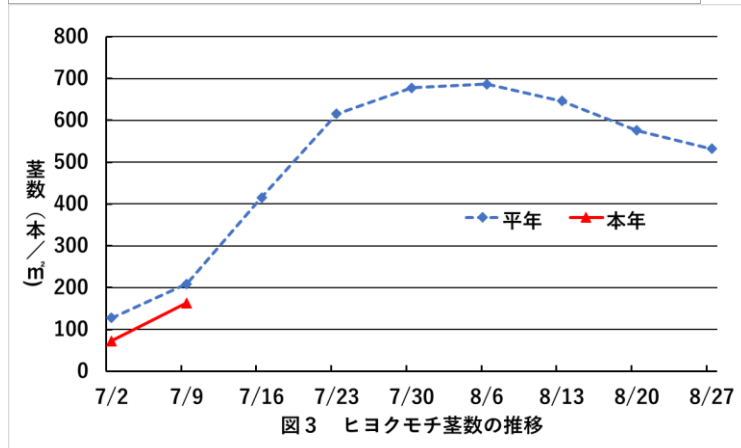
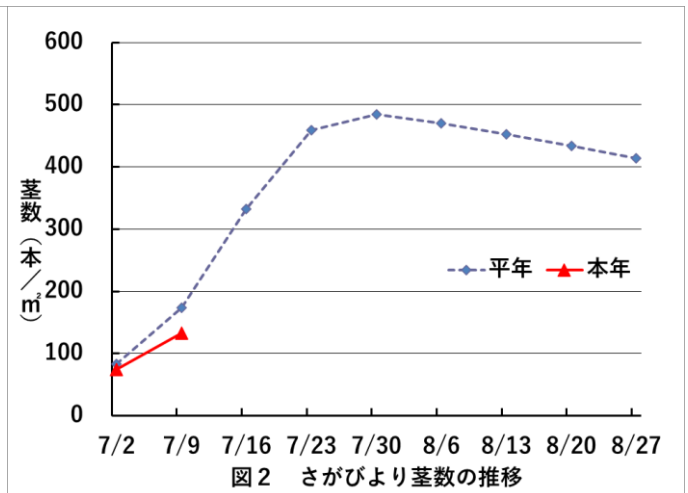
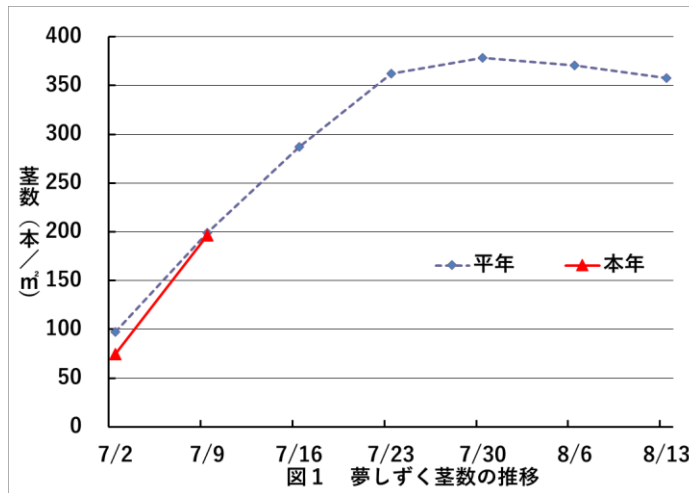
品 種 場 所	移植日 栽植株数	年 次	現在の生育状況				概況
			草 丈 c m	茎 数 本/m ²	葉 齢	葉 色 SPAD	
夢しずく 佐賀市本庄町	6/17 18.0株/m ²	本 年	37.6	196	7.9	38.5	7月1半旬は、気温はやや高く(+2.2℃)、多雨(146%)、寡照(77%)で経過している。 ◇平年と比べ、 草丈：「夢しずく」はやや高く、「さがびより」「ヒヨクモチ」共に低い。 茎数：「夢しずく」は平年並、「ヒヨクモチ」「さがびより」は少ない。 葉齢：「夢しずく」「ヒヨクモチ」はやや進んでいる。「さがびより」はやや遅れている。 葉色：「夢しずく」「さがびより」「ヒヨクモチ」共に淡い。
		平 年	37.4	199	7.5	40.9	
		平年比	(101)	(99)	(0.4)	(-2.4)	
さがびより 小城市芦刈町	6/22 18.5株/m ²	本 年	27.4	133	6.5	33.0	
		平 年	33.9	173	7.5	38.8	
		平年比	(81)	(77)	(-1.0)	(-5.8)	
ヒヨクモチ 神崎市神崎町	6/21 19.0株/m ²	本 年	24.9	164	7.7	37.0	
		平 年	29.3	209	7.5	38.7	
		平年比	(85)	(78)	(0.2)	(-1.7)	

注1) 各品種 前作：麦

注2) 施肥及び病害虫防除は地区基準に準ずる

注3) 平年値は、過去10年間(H25~R5)の平均値(さがびよりについては、R1年を除くH25~R5年の平均値)

注4) ヒヨクモチは今回神崎町のデータを用いています



◆農業試験研究センター米づくり情報2号 7月9日(抜粋)

本年産水稻の生育状況(7月9日)

移植日	項目		年次	草丈 cm	茎数 本/m ²	葉齢 L	葉色 SPAD	概況 (平年と比較して)
	品種							
6月	夢しずく	本年	33.3	231	7.6	34.9	[気象] 7月1日~8日まで ◆平均気温…平年より 2.7℃高い ◆日照時間…長い(平年比 112%) ◆降水量…少ない(平年比 94%) [生育]	
		平年	34.8	192	7.2	35.6		
		平年比(差)	96	120	+0.4	-0.7		
18日	ヒノヒカリ	本年	29.9	317	7.8	36.0	◆草丈 「夢しずく」「さがびより」「ヒヨクモチ」は やや低い、「ヒノヒカリ」はやや高い。 ◆茎数 「夢しずく」「ヒノヒカリ」「さがびより」は 多い、「ヒヨクモチ」はやや少ない ◆葉齢 「夢しずく」「ヒノヒカリ」「さがびより」は やや多い、「ヒヨクモチ」はやや少ない。 ◆葉色(SPAD値) 「夢しずく」「さがびより」「ヒヨクモチ」では 平年並み、「ヒノヒカリ」ではやや低い。	
		平年	28.7	250	7.4	37.0		
		平年比(差)	104	127	+0.4	-1.0		
6月	さがびより	本年	30.0	203	7.4	37.5	◆草丈 「夢しずく」「ヒノヒカリ」「さがびより」は 多い、「ヒヨクモチ」はやや少ない ◆葉齢 「夢しずく」「ヒノヒカリ」「さがびより」は やや多い、「ヒヨクモチ」はやや少ない。 ◆葉色(SPAD値) 「夢しずく」「さがびより」「ヒヨクモチ」では 平年並み、「ヒノヒカリ」ではやや低い。	
		平年	30.5	170	7.2	38.0		
		平年比(差)	98	119	+0.2	-0.5		
20日	ヒヨクモチ	本年	26.7	294	7.3	39.9	◆草丈 「夢しずく」「ヒノヒカリ」「さがびより」は 多い、「ヒヨクモチ」はやや少ない ◆葉齢 「夢しずく」「ヒノヒカリ」「さがびより」は やや多い、「ヒヨクモチ」はやや少ない。 ◆葉色(SPAD値) 「夢しずく」「さがびより」「ヒヨクモチ」では 平年並み、「ヒノヒカリ」ではやや低い。	
		平年	27.4	306	7.6	39.3		
		平年比(差)	97	96	-0.3	+0.6		
留意点	○ 7月1日~8日は日照時間が確保されたため、草丈は2~4cm程度の伸長で草姿(先週までは徒長気味)は回復した。葉齢は前回調査より2葉展開しており、4号、5号分けつが確保され、茎数は一気に増加した。							

注1) 耕種概要等は前号参照。

2. 水稻における今後の管理

降雨が続く予報となっており、湛水の長期化で分けつ発生が抑制されるため、浅水管理を基本的に行う

○水管理 ~ 稲体の健全化を図る ~

- ・除草剤施用後の湛水期間を過ぎた圃場は、速やかに間断かん水に移行することで、土壌に酸素を供給し、稲体の健全化を図る。
- ・浸冠水した圃場は、速やかに新しい水と入れ替えたのち、いったん落水して土中に酸素を供給することで、発根を促し、分けつの発生を促進する。
- ・麦わら等の有機物の分解に伴うガス発生が多い圃場では、落水(地干し)を1~2程度行い土壌の急激な還元化を抑制する。
- ・浸冠水した圃場では、スクミリングガイの被害を受けやすくなるため、浅水管理を基本に必要な応じメタアルデヒド剤等の薬剤防除を実施する。
- ・余り苗は、いもち病やウンカの温床になるため、直ちに除去する。

(早植え水稻)

表1 夢しずくの中干し時期

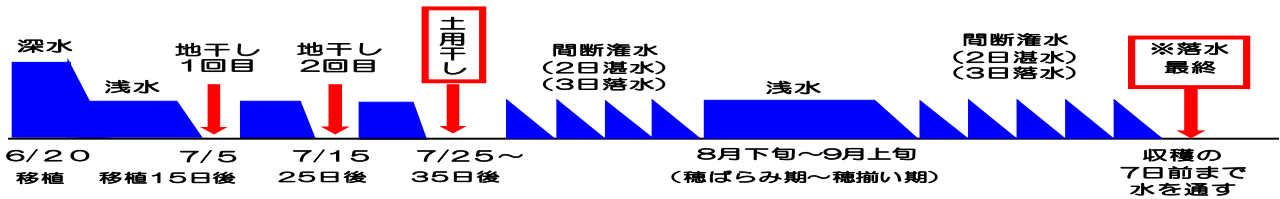
- ・有効茎が確保できている圃場では、中干しを開始する(目安は右表を参考)。
中干しは、軽い亀裂が入り足跡がわずかにつく程度とする。

品種	目標 穂数 本/m ²	有効茎数(中干し時期)	
		50株/坪 (15.2株/m ²)	60株/坪 (18.2株/m ²)
夢しずく	360	24本/株	20本/株

※砂壤土における強い中干しは、漏水の原因となるため、土壌表層に小さい亀裂が入る程度とし、黒乾状態を保つ。

(普通期水稲)

・分けつの確保及びスクミリングガイの食害回避のため、浅水管理を基本に行う。



・1株あたり茎数が20本以上確保できた圃場は、下の表2を参考に落水し「中干し」を実施する。

表2. 品種毎の中干し時期(圃場の生育状況に合わせて実施しましょう)

品 種 名	中干しの時期	中干しの程度
「ヒノヒカリ」 「ヒヨクモチ」	7月20日～25日頃	やや強め 土に約1cmヒビが入る程度(白乾手前)
「さがびより」		弱め 土は黒く軽くヒビが入る程度

※排水不良田では、白乾が始まる程度のやや強めの中干しを行う。

○雑草防除 ～除草剤散布が遅れた圃場や田面が露出した圃場などは、雑草の発生に注意を～

・雑草の生育(葉齢)に注意し、中後期除草剤による早めの対策を講じる。

対象	除草剤名	使用時期	備考
ヒエ類	クリンチャー I 粒剤	移植後7日～バ ¹ E4L 但し、収穫30日前まで	湛水散布(3～4日は湛水)
	クリンチャー EW	移植後20日～バ ¹ E6L 但し、収穫30日前まで	落水散布。展着剤加用。
	ヒエクリーン I 粒剤	移植後15日～バ ¹ E4L 但し、収穫45日前まで	湛水散布(3～4日は湛水)
広葉雑草	バサグラン粒剤	移植後15日～55日 但し収穫60日前まで	落水～ごく浅く湛水散布。 最低3日間入落水しない。
	バサグラン液剤	移植後15日～55日 但し収穫50日前まで	高温条件下では、薬害が生じやすいので夕方散布。
対象	除草剤名	使用時期	備考
ヒエ類および広葉雑草	クリンチャーバス ME 液剤	移植後15日～バ ¹ E5L 但し収穫50日前まで	落水～ごく浅く湛水散布。 最低3日間入落水しない。 高温条件下では、薬害が生じやすいので夕方散布。(展着剤無加用)
	ハイカット I 粒剤	移植後15日～バ ¹ E3.5L 但し、収穫60日前まで	湛水散布(3～4日は湛水)
	フォローアップ I 粒剤	移植後15日～バ ¹ E5L (稲4葉期以降) 但し、収穫60日前まで	湛水散布(3～5日は湛水)
	ワイドアタック SC	移植後20日～バ ¹ E6L (稲5葉期以降) 但し、収穫30日前まで	落水～ごく浅く湛水散布。(展着剤無加用)

○中間追肥 ～ヒノヒカリ、ヒヨクモチ～


・元肥に即効性の肥料（BB480等）を使用した場合は次の通り。

「ヒノヒカリ」：7/5～10頃、窒素成分で2.0kg/10a（BB480：15kg/10a）程度

「ヒヨクモチ」：7/15頃、窒素成分で1.6～2.1kg/10a（BB480：12～15kg/10a）程度

○病害虫情報（発生および防除）

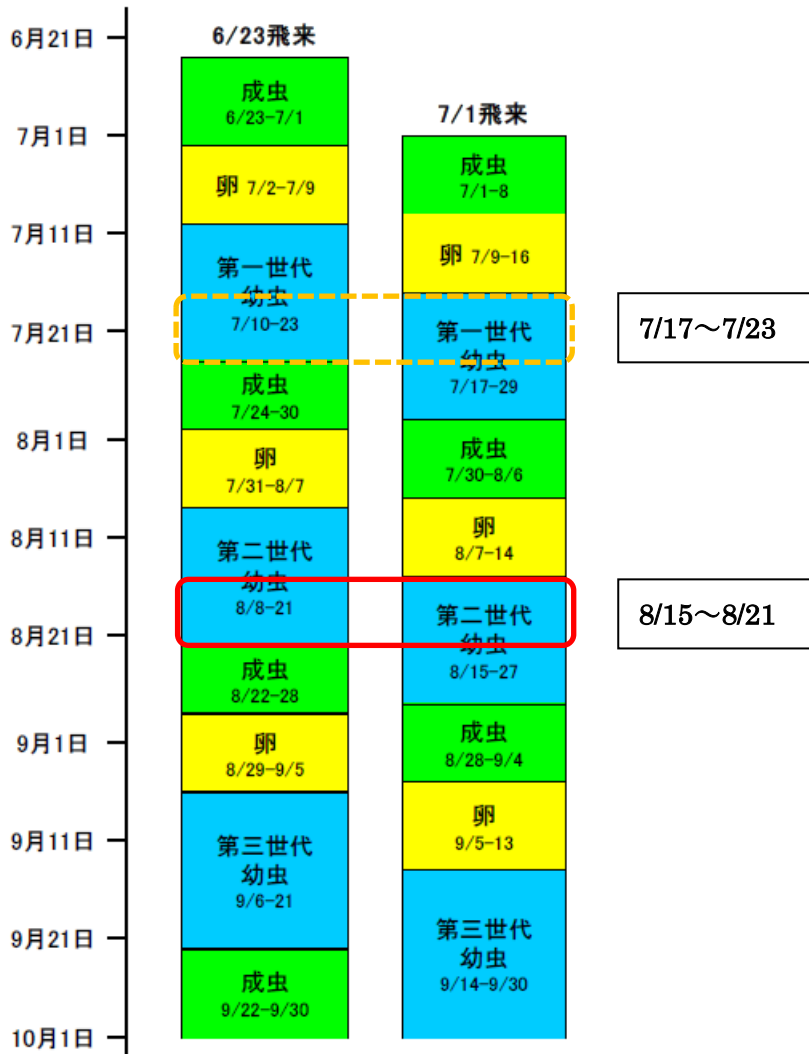
- ・7月10日現在、ウンカ類（セジロウンカ、トビイロウンカ）は、梅雨の前線に伴う飛来（6/23～、7/1～）が確認されている。
- ・特に、7/1に、トビイロウンカの誘利数が多くっており、佐賀市でも7/3に確認されている。
- ・ウンカ類の飛来量は下表のとおりとなっており、トビイロウンカの発生予測は、下図のとおり。
- ・品種別に発生状況は異なると考えられるため、発生状況を確認し、防除時期の判断・適期防除に努める。
- ・今後も、梅雨前線に伴いウンカ類の飛来が予想されるため最新情報を、農業技術防除センターのホームページで確認し、適期防除に努める。

佐賀県 農業技術防除センター 

海外飛来性害虫情報第5号(ウンカ類・コブノメイガのトラップ捕獲状況) (令和6年7月10日更新)

月 日	トビイロウンカ					セジロウンカ					コブノメイガ							
	佐賀県		長崎県			佐賀県		長崎県			佐賀県		長崎県		長崎県			
	佐賀市 ネット トラップ	糟野市 ライト トラップ	諫早市 ライト トラップ	諫早市 ネット トラップA	諫早市 ネット トラップB	佐賀市 ネット トラップ	糟野市 ライト トラップ	諫早市 ライト トラップ	諫早市 ネット トラップA	諫早市 ネット トラップB	佐賀市 フェロモン トラップA	佐賀市 フェロモン トラップB	神崎市 粘着トラ ップ(20W 蛍光灯)	伊万里市 粘着トラ ップ(20W 蛍光灯)	白石町 粘着トラ ップ(20W 蛍光灯)	武雄市 粘着トラ ップ(20W 蛍光灯)	諫早市 フェロモン トラップA	諫早市 フェロモン トラップB
5月 22日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26日	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
27日	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30日	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
31日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6月 1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5日	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11日	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12日	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15日	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19日	0	1	0	0	0	1	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20日	0	3	0	0	0	0	10	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21日	0	8	0	0	0	0	25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0
22日	0	0	0	0	0	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23日	0	24	0	0	0	25	66	8	1	1	0	0	0	0	0	0	10	0
24日	0	14	0	0	0	13	92	5	0	2	0	0	0	0	0	0	18	0
25日	0	1	0	0	0	0	148	1	0	0	0	0	0	0	0	0	25	3
26日	0	9	0	0	0	0	187	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	0
27日	0	3	0	0	0	2	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	1
28日	0	7	0	0	0	0	30	4	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
29日	0	4	0	0	0	3	31	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
30日	0	13	0	2	0	15	5	0	3	0	0	0	0	0	0	0	2	0
7月 1日	0	229	0	0	0	14	88	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	3
2日	0	41	0	0	0	0	97	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	2
3日	1	欠測		0	0	1	欠測		0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
4日	0	5		0	0	0	3		0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
5日	0	0		0	0	5	9		1	0	0	0	0	0	0	0	2	0
6日	0	0		0	0	0	5		0	0	0	0	0	0	0	0	2	1
7日	0	0				0	0											
8日	0	1				2	1											
9日	1	0				0	0											
10日	0					1												

注1)ウンカ類：佐賀市のネットトラップは、農業試験研究センターで調査(回収日で集計)。糟野ライトトラップ(予察灯)は農業技術防除センターで調査。
注2)コブノメイガ：神崎市、白石町、伊万里市、武雄市は防除員が調査。佐賀市のフェロモントラップは農業試験研究センターで調査。
※長崎県のデータは、長崎県農林技術開発センター 環境研究部門 病害虫発生予察室提供。



トビロウカ各世代の発生予測 (第1版、2024年7月4日作成)

1. 6月23日~24日頃(図では6月23日)、7月1日~2日(図では7月1日)の飛来虫を起点とし、トビロウカの有効積算温度及び佐賀市川副町のアメダスデータ(7月4日以降は平年値)に基づき作成した。
2. 田植え時期、品種等の違いによって、本虫の発生量は異なるので、必ず圃場ごとの発生状況を確認したうえで、防除対策を講じる。
3. 今後の気象経過等に応じて、本図は随時、更新するので、最新情報は、農業技術防除センターのホームページで確認する。

3. 大豆における今後の管理

播種適期を迎えていますが、断続的な降雨により播種が困難な状況が続いています。

安全・多収を目指すには、「出芽・苗立ち」が重要であるため今後、気象予報をみながら、圃場が耕起可能な状態になれば直ちに播種できるよう準備を行いましょ。

○圃場準備 ~ 耕起は水分の低い時に。大雨・長雨予報の時は無理しない~

- ・大豆は、石灰の吸収量が多く、根粒菌の活動促進のため、石灰を必ず施用する(適正 pH6~6.5)。
- ・播種後2日間の大雨や浸水で、発芽率が著しく低下(酸素不足による窒息)するため、播種後2~3日以内の大雨が予想される場合は無理して播種しない。
- ・荒起こしは、圃場が乾くのを待ち、なるべく播種前日~当日に行う。播種後に晴天が予想される場合、乾燥による発芽率の低下が懸念されるため、荒起こしと播種耕起の間隔を空けない。

なお、耕うんと播種を2台のトラクターで並行して組作業を行えば、土壤水分を確保しつつ播種が可能である。

- ・播種は、成形ロータリもしくは、麦用の「畦盛り板」を装着し、畦立て播種すれば、表面排水も良くなるため、浸水による出芽不良を軽減することができる。

この場合、培土に使う土を確保するため荒起こしを深めに行い、播種時は浅めに起こしながら条間を中耕培土できるようにする。

○播種

- ・種子消毒：多湿条件で播種した大豆は、発芽の遅れや、土中で種子が腐り発芽苗立ちが劣りやすい。そのため、土中での種子の腐敗リスクを軽減するために、種子消毒（クルザーMAXX、キヒゲン R2 フロアブル）等を徹底し、発芽率向上に努める。
- ・播種量：大豆の播種適期は7月上中旬であるが、それ以降の播種は生育量の確保が難しくなるため、播種時期に適した栽植本数を確保する。

播種時期 (月/日)	栽植本数 (㎡当り)	栽植様式(例) (条数)条間×株間×1株本数	播種量 (/10a)	窒素施肥量 (/10a)
7/1~7/15	13本 10本	(2条)75cm×20cm×2本 (2条)75cm×25cm×2本	3~4kg	—
7/16~7/25	18本 20本	(2条)75cm×15cm×2本 (3条)50cm×20cm×2本	5~6kg	—
7/26~7/31	24本 27本	(2条)75cm×11cm×2本 (3条)50cm×15cm×2本	7~8kg	4~6kg

・播種深度

播種後2~3日以内に降雨が予想される場合→2cm程度の浅めに播種、鎮圧はしない。

播種後に晴天が続く場合や、土壤が乾燥気味の場合→4~5cm前後の深めに播種かつ鎮圧する。

○雑草防除

播種前)「ラウンドアップ」「プリグロックス」など茎葉処理剤の散布において、風の強い日の散布は周辺水稻へ飛散する危険が大きいため必ず避ける。(場合によっては枯死まで至る)

播種直後) 土壤処理剤を散布し、雑草防除を行う。特に近年問題となっているホオズキ類の発生が多い圃場においては、「ラクサー乳剤」「フルミオ WDG」が効果的である。播種直後の散布でも隣接圃場の水稻へドリフト防止のため風速と風向きに注意し、風が強い日は散布しない。

※アサガオは、多発すると大豆の作付け自体が困難になるため、見つけ次第手で抜き取る。

また、「フルミオ WDG+サターンバアロ乳剤」の混用も効果がある。

※すでにアサガオ類が多発している圃場では、トレファノサイド乳剤の全面土壤混和处理(播種前に200~300 ml/10a 散布→速やかに荒起→播種)で密度を減らすことができるため、土壤処理剤や大

豆生育期除草剤、中耕・培土と組み合わせた防除を実施する。

※ツユクサ対策（近年多く見られるツユクサは「カロライナツユクサ」と「マルバツユクサ」である。

- ・非選択性除草剤：プリグロックスLの効果が高い（ラウンドアップは効果は低い）
- ・茎葉処理剤：「マルバツユクサ」 → パワーガイザー
「カロライナツユクサ」 → アタックショット、大豆バサグランがある程度効果あり。

